

社会科、地理歴史科、公民科の
現状と課題、改善の方向性（検討素案）【見え消し版】
（教育課程部会等の審議を踏まえて再整理したもの）

1. 現状

- 社会科、地理歴史科、公民科教育は、小学校、中学校及び高等学校を通じて、日本や世界の諸事象に関心をもって、多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力や態度、我が国の国土や歴史に対する理解と愛情、国際協力、国際協調の精神など、日本人としての自覚をもち、国際社会の中で主体的に生きる資質や能力を育成することをねらいとしている。
- このねらいを実現するため、小学校では、学年進行に応じて、地域社会や我が国の国土、産業、歴史や政治などに関する内容について、中学校では、地理、歴史、公民の三分野に分化して系統的に学習している。高等学校では、地理歴史科と公民科に分かれ、世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政治・経済の各科目構成によって専門性を重視した学習を行っている。

2. 課題

- 児童生徒の学習状況については、基礎的・基本的な知識、概念が十分に身に付いていない状況が見られる。さらに、知識・技能を活用することの重要性が指摘されている。
- 現行学習指導要領においては、特に、中学校社会科の各分野や高等学校公民科において文化の扱いが少なく、我が国の伝統や文化等に関する教育の充実が求められている。
- 小学校社会科において諸外国についての基礎的な知識が不足していること、中学校社会科の地理的分野において国々のうち二つ又は三つの事例地域に限定していること、歴史的分野において世界の歴史にかかわる内容が少ないことから、世界の地理や歴史に関する内容の充実も求められている。
- 規制緩和の進展や司法制度改革など、社会経済システムの高度化・複雑化が顕著な現代において、将来の社会を担う子どもたちには、新しいものを創り出し、よりよい社会の形成に向け、主体性をもって社会に積極的に参加し課題を解決していくことができる力を身に付けさせることの重要性が指摘されている。

3. 改善の方向性

- 小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。

- 我が国の社会の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、伝統や文化、宗教、世界の地域的枠組みを踏まえた異文化への理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

4. 改善例

【小学校】

- 生活科の学習の上に立ち、児童の発達段階に応じて、地域社会や我が国の国土、歴史などに対する理解と愛情を深め、社会的な見方や考え方を養い、身に付けた知識や技能などを活用し、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視して改善を図る。

その際、作業的、体験的な学習や問題解決的な学習を一層充実させることにより、学習の基盤となる知識や技能を習得させるとともに、それらを活用して観察・調査したり、各種の資料を用いて調べたことから必要な情報を集めて読み取ったりしたことを的確に記録し、比較・関連付け・総合しながら再構成する学習や考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習の充実を図る。
- (ア) 広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚をもち国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識を身に付けるため、例えば、我が国における自分たちの住む県（都、道、府）の位置及び47都道府県の位置を新たに加え、我が国における国土の広がりの中で自分たちの住む県（都、道、府）の位置をとらえることができるよう改善を図る。また、地図や地球儀を用いて世界の主な大陸や海洋、主な国の名称と位置などを調べる学習を新たに加え、世界の中の我が国の位置及び領土をとらえることができるよう改善を図る。~~さらに、国土の豊かな自然及び自然災害に関する内容を新たに加え、国民生活の舞台となっている我が国の国土に対する理解と愛情を一層豊かにはぐくむことができるよう改善を図る。~~
- (イ) 我が国の歴史や文化を大切にし、日本人としての自覚を深めるため、例えば、農耕の始まり以前の内容についても取り上げる縄文時代の人々の暮らしに関する内容を新たに加えたり、歴史的事象との関連で取り上げる文化遺産を例示したりするなど、伝統や文化に関する内容の充実を図る。また、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うため、例えば、社会生活を営む上で大切なルールや法及び経済に関する基礎となる内容の充実を図るとともに、~~さらに、~~我が国の通信などの産業に関する内容について、社会の変化高度情報化の進展を踏まえつつ学習のねらいを一層明確にする観点から改善を図る。さらに、我が国の国土の自然などの様子に関する内容について、国土の豊かな自然及び自然災害に関する内容を新たに加え、持続可能な社会及び防災の観点も含めて再構成する。~~国民生活の舞台となっている我が国の国土に対する理解と愛情を一層豊かにはぐくむことができるよう改善を図る。~~

【中学校】

- 小学校社会科の学習を踏まえ、地理的分野、歴史的分野、公民的分野という三分野の構成は維持しながら、我が国や世界の地理や歴史、法や政治、経済等に関する基礎

的・基本的な知識、概念や技能を習得し、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方を養うことを一層重視して改善を図る。また、伝統と文化、宗教に関する学習を重視して改善を図る。

各分野においては、それぞれの特質と相互の関連を留意しながら、次のような改善を図る。

- a 地理的分野については、世界の地理的認識を深めるため、世界各地の人々の生活と環境とのかかわりや世界の諸地域の多様性について学ぶ項目を設けて、世界地理に関する内容を充実させるとともに、我が国の国土に対する認識を一層深めるため、小学校社会科の学習内容を踏まえ、日本の諸地域における特色ある事象と他の事象とを有機的に関連付けて地域的特色をとらえさせ、我が国の国土に対する認識をより一層深めることができるよう内容の改善を図る。また、身近な地域の調査学習を通して、地図の読図や作図などの地理的技能を身に付けさせるとともに、諸課題を解決し地域の発展に貢献しようとする態度を養うことができるようにする。
- b 歴史的分野については、我が国の歴史の大きな流れを理解させ、歴史的な見方や考え方の基礎を養うため、各時代の特色や時代の転換にかかわる基本的な内容の定着を図り、課題追究的な学習を重視して改善を図る。その際、身近な地域の歴史学習などを通して我が国の伝統や文化にかかわる学習を充実させるとともに、現代社会についての理解が深まるよう近現代の学習を一層重視し、する。また、我が国の歴史の背景にある世界の歴史の扱いを充実させる。また、身近な地域の歴史学習などを通して我が国の伝統や文化にかかわる学習を充実させるとともに、諸事象の意味や意義、事象間の関連などを追究して深く理解し自分の言葉で表現する学習を重視する。
- c 公民的分野については、現代の社会を分析的に理解するを一層深めさせるとともに、よりよい社会の形成に参画する資質や能力を育成するため、現代社会の成り立ちや文化の役割についての理解させる学習、貨幣、ルール、通貨などを窓口とした通して社会、政治、経済などや社会倫理についての学習、についての見方や考え方の基礎を一層養う学習、持続可能な社会という視点から環境問題や少子高齢社会とにおける社会保障制度と税に関する問題など現代社会において検討すべき諸課題についての学習を重視して内容を構成する。その際、習得した概念を活用して諸事象の意義を解釈させたり事象間の関連を説明させること、自分の考えを論述させたり、議論などを通してお互いの考えを深めさせたりすることを重視する。

【高等学校】

- 中学校社会科の学習を踏まえ基礎として、各科目の特質と相互の関連性を考慮しながら、習得した知識、概念や技能を活用して、世界や日本の歴史的事象や地理的事象、現代社会の諸事象について考察し、その内容を説明したり自分の考えを論述したりすることを通して、社会的事象についての見方や考え方を成長させるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を一層深めることを重視して、次のような改善を図る。
- (7) 地理歴史科については、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識をが一層深めさせまるよう科目間の関連を重視するとともに、各科目で専門的な知識、概念や技能を習得し、定着させ、及びそれらを

の活用できが図れるよう改善を図る。

~~世界史の分野については、諸文明の歴史的特質と世界の一体化の過程を、地理的条件や日本の歴史との関連付けを一層重視しながら扱い、世界の歴史に関する基礎的な知識を習得させるとともに、主題を設定して追究する学習を通して、知識を活用する方法を身に付け、歴史的思考力を培うことを一層重視する。~~

~~「世界史A」については、諸文明の特質と世界の一体化の過程を、地理的条件や日本の歴史との関連に留意しながら理解させるとともに、人類の諸課題を追究する学習を通して、現代世界の特質に関する認識を深め、歴史的思考力を培うようにする。~~

~~「世界史B」については、世界の歴史の大きな流れを、諸地域の地理的条件や日本の歴史との関連に留意しながら理解させるとともに、適切な主題を設定して追究する学習を通して、文化の多様性や相互交流に関する認識を深め、歴史的思考力を培うことを一層重視する。~~

~~日本史の分野については、我が国の歴史の展開をさまざまな資料を活用して総合的に理解させ、我が国の伝統や文化の特色についての認識を深めさせるとともに、主題を設定して追究する学習などを通して、歴史的思考力を培うことを一層重視する。~~

~~「日本史A」については、地理的条件や世界の歴史と関連させながら、主題を設定して追究する学習などを通して、我が国の近現代の歴史や現代社会の成り立ちについて理解させて、歴史的思考力を培うようにする。~~

~~「日本史B」については、様々な資料を活用しながら、地理的条件や世界の歴史と関連させ、適切な主題を設定して追究する学習などを通して、我が国の歴史の展開を総合的に理解させ、伝統や文化の特色についての認識を深めさせて、歴史的思考力を培うことを一層重視する。~~

~~地理の分野については、防災など生活圏の地理的課題や現代世界の諸課題に関する地図の読図・作図及び地域調査などの作業的、体験的な学習を充実し、実生活と結び付いた地理的技能を身に付けさせるようにする。また、地球的課題や持続可能な開発の在り方などについて地域性を踏まえて考察する学習や、現代世界の様々な地理的事象及び諸地域の地域的特色を考察する学習を通して、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的な見方や考え方を培うようにする。~~

~~「地理A」については、防災などの生活圏の地理的課題に関する地図の読図・作図及び地域調査などの作業的、体験的な学習を充実し、実生活と結び付いた地理的技能を身に付けさせるとともに、環境、資源・エネルギー問題などの現代世界の諸課題や持続可能な開発の在り方などについて地域性を踏まえて考察させ、地理的な見方や考え方を培うことを一層重視する。~~

~~「地理B」については、現代世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、人種・民族などに関する地理的事象の分布やその要因などについて体系的に考察させるとともに、それらの学習で習得した知識、概念や地理的技能を活用して、世界諸地域の地域的特色を多面的・多角的に考察させ、地理的な見方や考え方を培うことを一層重視する。~~

- (イ) 公民科については、各科目の専門的な知識、概念や理論及び倫理的な諸価値や先哲の考え方等~~など~~について理解させるとともに、それを手掛かりに各科目でそれぞれの特質に応じて取り上げた諸課題を考察させ、~~大間としての在り方生き方につい~~

~~で考える力と社会的事象に対する客観的で公正な見方や考え方~~と人間としての在り方生き方についての自覚を一層養うことができるよう深めることを重視して改善を図る。

「現代社会」については、倫理、社会、文化、政治、法、経済の内容にかかわる現代社会の諸課題を取り上げて、人間としての在り方生き方についての学習や、議論などを通して自分の考えをまとめたり、説明したり、論述したりするなど課題追究的な学習をより一層重視するよう改善を図る。

「倫理」については、先哲の考え方などを手が掛かりとして人間としての在り方生き方への関心を高め、自分自身の判断基準を形成するために必要な倫理的な諸価値を理解させるとともに、課題追究的な学習や討論を行い、自己の生き方を探究求できるように改善を図る。

「政治・経済」については、知識や、概念や理論などを学習した後に課題追究的な学習を行うという基本的な枠組みについては現行の学習指導要領の考え方を引き継ぐとともに、社会経済システムの高度化・複雑化、グローバル化に対応して、法や金融などに関する学習の充実を図る。